

(別表) 評価項目・基準

評価項目	評価の視点	配点
I 実施体制等		30
(1) 業務実績	・ PFI 導入可能性調査業務等に関する業務実績をどの程度有しているか。 ・ 複数の機能を有する公共施設と民間収益施設を合築又は併設した施設に係る PFI 導入可能性調査業務等に関する業務実績をどの程度有しているか。 ・ 当該業務を遂行するにあたり十分な知見があると判断できる実績であるか。	10
(2) 実施体制	・ 当該業務に精通した担当者の配置や人員の確保等、適切に業務を行える体制となっているか。 ・ 市からの要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。	10
(3) 実施能力	・ 組織として当該業務に関する幅広い知見、情報収集・企画提案能力を有しているか。 ・ 円滑に業務を遂行するためのバックアップ体制、管理体制が示されているか。 ・ 説明及び質疑応答から、知識や経験、コミュニケーション能力等の高さが感じられるか。	10
2 企画提案		65
(1) 業務の理解度	・ 当該業務の趣旨及び内容を十分に理解しているか。 ・ 対象施設や周辺の状況を踏まえて、的確に事業のイメージを捉え、目的に沿った提案となっているか。	10
(2) 業務の具体性・実現性	・ 仕様書に記載の業務内容の実現に向けて、自社の優位性に基づく、業務全体の考え方や業務の進め方に関する提案がなされているか。 ・ 業務内容ごとに作業内容が具体的に示され、業務担当者の知識やノウハウの発揮が見込める内容となっているか。 ・ 提案内容がこれまでの実績や経験に基づき作成されており、実現性の高いものとなっているか。	30
(3) 業務の独自性・創意工夫	・ 付加価値を高めるような独自性を有する提案があるか。 ・ 当該業務を遂行する上での創意工夫が感じられるか。	15
(4) 作業計画	・ 業務手順や工程が明確・妥当であり、期間内で円滑に確実な遂行ができる提案であるか。	10
3 提案価格		5
見積書の妥当性・費用対効果	・ 当該業務に基づき適切に経費が積算されているか。 ・ コストパフォーマンスに優れ、十分な効果が期待できる提案となっているか。	5
合計		100